

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成31年3月5日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691200275
法人名	株式会社 ケイシン
事業所名	グループホーム こくぶ太陽の家
所在地	鹿児島県霧島市国分中央一丁目24番地24号 (電話) 0995-48-7320
自己評価作成日	平成31年2月8日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成31年2月25日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・入居者様が安心、安全に日々をゆったりと過ごしていただける環境づくりに努めています。
- ・ご家族の不安や負担を軽減し、より良い信頼関係の橋渡しになれるよう支援に努めています。
- ・まちかど相談所として地域や近隣の方々とのより良い友好関係を築き、地域のよりどころになれるよう努めています。
- ・ライフサポートワーカーとして、施設だけでなく霧島市全体の介護福祉事業の発展に繋げられるよう、協力や支援に努めています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は木造りで平屋の1ユニットのグループホームである。
- ・自治会に加入し、去年は班長を努め役員会や清掃作業に参加している。近隣から野菜の差し入れ等があり、地域住民も気軽に立ち寄りしている。子供110番の家でもあり、中学生・高校生の職場体験学習の受け入れも行って、日常的に地域と交流している。
- ・まちかど介護相談所として地域に貢献している。
- ・利用者のメリハリのある生活を支え、残存機能の保持増進を図っている。ミニバレー・知育パズル・ぬりえ・知育積み木・庭掃除等に取り組んでいる。
- ・管理者は職員の意見や提案を受け入れ、質の高い介護サービスを提供するよう取り組み、職員も明るく意欲的である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	法人全体の理念、個々の施設ごとの理念をそれぞれに掲げ、毎日の申し送り時に唱和することで職員一同思いを一つに努力している。	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念があり、玄関・事務所に掲示している。重要事項説明書にも記載し、契約時に本人・家族に説明している。理念は、毎日申し送りの時に唱和を行い、職員間で共有し、実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会へ加入し役員会への参加や回覧の請負、食品類のおすそ分けなどを普段から行っている。近くの小学校へは自施設をこども110番に登録、講習への参加を毎年行っている。	自治会に加入し、去年は班長を努め役員会や清掃作業に参加している。近隣から野菜の差し入れや地域住民も気軽に立ち寄りしている。子供110番の家でもあり、中学生・高校生の職場体験学習の受け入れも行って日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	ライフサポートワーカーが2名在籍しており、まちかど介護相談所として近隣だけでなく霧島市全体の福祉事業への積極的な参加を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>隔月の運営推進会議にて入居者様の現状報告を行い、7月と3月には家族会を同時に開催することで施設の現状や家族の思いにも触れていただいている。</p>	<p>2ヶ月毎に定期的実施している。入居者の現状報告や行事予定・外部評価結果報告・家族会・検食等を行い、意見交換している。会毎にテーマを決めて、防災や認知症について話し合い、工夫した取り組みを行っている。高齢者の見守りや民生委員と連携しての取り組み等、運営に反映している。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議への参加の呼びかけにて施設の現状や入居者様の様子を見ていただいている。ライフサポートワーカーとして市役所主催の行事や研修への参加も行っている。</p>	<p>市の担当者とは、窓口に出かけたり運営推進会議の時に入居者の状況や取り組みを伝え、相談やアドバイスを貰っている。福祉課の訪問もあり連携を取っている。ライフサポートワーカーとして市主催の行事に参加したり活動を行っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>月一回のミーティングの際に身体拘束委員会を設けて日々のケアについての話し合いを行っている。出された意見は月内に実施し、次月に結果の報告を行っている。</p>	<p>マニュアルを作成している。身体拘束委員会を月1回、実施して身体拘束禁止の管理票のチェックを行い事例を話し合っている。外出したい時は職員が同行している。医療機関や初市など、本人の希望に対応し、拘束しないケアに取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体的虐待は勿論のこと、精神的虐待や言動にも問題がないか、職員同士で互いを注意しあえる関係づくりに努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見人の方々との連絡は密に行い、必要だと感じた際は関係者への手続きの検討を促したりと支援を行っている。		
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居の契約時は一項目ずつ読み上げながら、細かな部分での不安や疑問がないかの確認を行いつつ説明している。改定時には手紙にて送付し確認後同意を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	遠方の方でも毎月の手紙にて現状の報告を行い、定期受診以外の受診や何らかの変化があった際には電話連絡にて報告を行っている旨を、入居時や電話連絡の度にお伝えしている。	利用者とは、日常の会話や態度・表情から思いを把握している。家族からは家族会議・面会時・運営推進会議の時に声かけし把握している。遠方の方には電話連絡で対応している。外出支援についての意見は、外出の機会を多くして運営に反映させている	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>日常業務内にて出された意見は可能なものから順次改善を行うよう努めている。すぐに対応や判断が難しいものはミーティングや、管理者会議にて本部へ伺いを立て反映できるよう努めている。</p>	<p>管理者は職員が話やすい環境を整えている。意見や提案はケアに関する事が多い。勤務体制にも配慮がある。受診や入浴介助等、すぐにできることは改善している。個別相談にも対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の時間に合わせた勤務の調整を行い、職員の私生活にも極力配慮した体制づくりに努めている。勤務年数やキャリアパス制度を登用し、長く務める職員の意欲向上に繋げている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>施設で必要な研修への参加依頼や、各自希望する研修への参加を募っている。その際に職場全体で時間確保ができる仕組みの構築に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修やレクリエーション等、他施設との交流が図れる機会への積極的な参加を心掛けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の面談や訪問で、本人様の生活歴、家庭環境、趣味等の情報収集をして、その中で要望に対応できるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前に不安や要望を聞き、より良いサービスに繋がるよう取り組んでいる。ご家族様とのコミュニケーションを大切にし、意見要望を話しやすい雰囲気作りをしている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人様とご家族様の意向をしっかりと把握し、安心してサービスを受けることができるように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	洗濯物畳み、お膳拭き、野菜の下拵え等、共に作業し、やり遂げた作業には感謝の言葉を伝えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>誕生日、母の日の前には手紙や電話でお知らせしている。定期受診の際は家族での夕食をお声がけしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>美容室など本人行きつけの所へ、家族またはスタッフでお連れしている。</p>	<p>馴染みの関係は本人や家族から把握している。友人・知人の訪問時はお茶を出してゆっくりしてもらっている。初市で馴染みの知人に出会うこともある。家族の協力を得ながら買い物や墓参り・美容室等、馴染みの関係が途切れないように支援に努めている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>話したい方、話が聴けたりうなずきのできる方が偏らないよう席の配置など考慮している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>次の受け入れ先や自宅へ帰られた方の家族や各機関からの問い合わせや質問、相談にも対応できるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	起床時や入浴時等、それぞれ本人の思いが一番聞ける時の思いを記録に残し、スタッフ間で思いの把握と共有に努めている。	家族からの情報や生活歴から利用者の思いを推し量り、入浴時や夜勤帯で把握し、困難な人は表情の変化やそぶりで把握し、本人の思いに沿った支援を心掛けている。思いがけないときに、言葉を発したり、何か伝えようとする時を見逃さないようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日常の会話やご家族よりの情報、地域ならではの古い友人や来客等を通じて情報の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	1日過ごされる中で変化を見逃さず事なく、まずはその日のスタッフ間でも十分に把握し、申し送りにて職員全体で情報を共有している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	御本人が話し易い雰囲気や場所で気持ちや思いを伺っている。電話や面会時に家族へ御本人の様子を伝え要望や意向を聞き取ったり、受診時には主治医から療養上の指導や指示を貰っている。ケアカンファレンスで職員それぞれの見解を総合しプランに反映させている。	本人や家族から要望や意向を把握し、医師の意見を参考にケアカンファレンスで話し合い、介護計画を作成している。モニタリングは6ヶ月毎に行い、見直しは必要時にし、現状に即したものととなっている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護支援記録表へはその日の本人の状況や発語、行ったケアと解り易く分けて記載している。日誌へは特変があった方の情報を記載する欄を設け、申し送り活用し情報を共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況に応じて対応しており、状態によっては電話連絡等を行い、家族の不安や負担を軽減できるよう支援している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	行政や地域の催し物への参加や個々での外出など、なるべく本人の希望に沿えるよう支援を行い、楽しく安心して過ごしていただけるよう努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	個々にかかりつけ医があり、ご家族が付き添えない場合は職員(主に看護師)と一緒に受診に付き添い、必要な情報を医療機関に提供している。急な発熱や皮膚トラブルは近医や専門医に依頼している。	かかりつけ医は、本人や家族の希望する医療機関であり、個々にかかりつけ医がある。往診で対応する場合もある。受診は基本的には家族が同行しているが状況により職員の看護師が付き添うこともある。受診結果は家族に連絡している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、ホールや廊下などで見つけた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎朝のバイタル測定や会話等の際の異常時はすぐに看護師に報告が行えている。また、入浴時の皮膚トラブルや褥瘡の状態も看護師に相談し、必要時は病院受診も行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入居者様の入退院時は看護サマリーを用い必要な情報交換が行えている。また、入院中は職員が面会に行き、入院中の状況も全職員で情報共有している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重症化した場合、主治医からの説明と一緒に聞き、情報を共有して、ご家族の希望に添える様にしていく。終末期においても同様であり、職員全体で支援していける様努めている。	重度化や終末期に向けた指針「重度化した場合の対応に係る指針について」がある。契約時に説明して同意を貰っている。状況に変化があった時は、主治医と家族が段階的に話し合いながら意向を確信している。特別養護老人ホームに移動する利用者もある。家族会でも話をして確認している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	入居者様の日々の状態について職員間でしっかりと共有し、消防訓練や勉強会を通して発生時に必要な知識の習得に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防立合いの避難訓練や定期的な設備点検の実施。運営推進会議での他施設の情報や、地域・ご家族との意見交換を行いながら予防に努めている。</p>	<p>火災訓練は消防署立ち合いで年2回実施している。避難経路・避難場所の確認、職員の通報連絡の点検を行っている。スプリンクラー等、防災設備は定期的に業者が点検している。自主訓練も行っている。地域住民の参加は運営推進会議に提起して民生委員や家族とも話し合い体制を整えつつある。避難時に個人情報ファイルも用意している。備蓄は米・カップ麺・レトルト食品等があり、ガスコンロも用意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	できるだけ言葉遣いに気をつけて話しながらも、時折鹿兒島弁を交えて話すなど、入居者様の気分やその場の雰囲気に合わせて言葉選びも行い、飽きさせない会話を心掛けている。	人格を尊重しプライバシーを傷つけない対応に配慮している。毎月のミーティングで言葉づかいを話し合っている。名前の呼び方は、本人の好む言葉で呼んでいる。排泄介助の誘導や声かけのトーン等に配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	声かけにて言葉を引き出し、自立動作に関しては極力本人からの要請が出るまでは見守りにて対応。過剰な手助けにならないよう心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務の中で個々の過ごし方や身の状態などを記録に残し、申し送りやミーティングを通して職員間で情報の共有している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	利用者様の毎日の衣類に偏りがないように、脱衣後は回収の声かけしている。希望があれば美容室の利用や衣類の買い物などの外出も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様の一番の楽しみであることを職員がよく理解しており、できる限り制限に引っかからない範囲で職員と同じ食事を提供している。それぞれが食べやすい形態で、楽しみの妨げにならないように配慮している。	嗜好を把握し個々に合った形態で調理している。行事食やおせち料理・ひな祭り・忘年会・誕生会等、食事が楽しみなものになっている。職員と一緒に野菜の下ごしらえやもやしの根切り・つわの皮むきをしたり、近所から野菜をいただく等、食生活を楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量のチェック、月1回の体重測定を行い栄養状態を良好に保てるよう支援している。水分補給では入居者様の好みも配慮し、一定量摂取できるよう声かけしながら援助している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後ごとに一人一人に声かけしている。自律動作の難しい方は介助にて行っている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握し時間ごとにトイレ誘導することで、なるべくトイレでの排泄を促し、失禁やパットの使用回数を減らすことができている。	排泄チェック表を活用して、パターンを把握し時間をみて誘導している。ハビリパンツから布パンツに改善した事例がある。介護用品の選択も個々に合わせながら対応している。食生活でも水分補給や便秘予防にも気配りして、自立に向けた支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表と申し送りによる便秘や下痢状態の把握を行っている。体操など少しでも身体を動かせるように声かけを行い、芋類や乳製品など食事面での便秘予防に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	車いすの方は中に入る事ができない為、足浴やシャワーで常時お湯をかけて対応している。湯加減の好みもあるので順番やお湯の入れ替えでその都度対応している。	入浴は週3回を目安にして、午前中に入浴している。車椅子の利用者もシャワー浴で工夫しながら対応している。個々に合わせて保湿剤を使用し、個々に応じた入浴支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人に合わせて午前もしくは午後横になっていただき、昼夜逆転にも配慮して長くなり過ぎないように、時間を決めて休んでいただいている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬内容を個々でファイリングし常に確認できるようにしている。頓服があった場合、記録や申し送りにて報告している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>誕生会や敬老の日の児童慰問に参加されている。新聞をたたんだり、洗濯物干しや食材の下拵えをできる限りの範囲でお手伝いいただいている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>外気浴や初市、初詣等一人一人の体調や状態に配慮しながら行っている。美容室や外食も家族への外出の連絡を取り次ぎ、施設でも時間を設けてできる限り個別での外出ができるよう調整している。</p>	<p>日常的にその日の気分で、庭で外気浴をしたり近隣を散歩している。年間計画をたてて、花見や紅葉狩りなど、個人的な理美容や墓参りも家族の協力を得て出かけている。地域の行事の初市・買い物等に出かけている。家族の協力を得ながら美容室や外食・墓参りなど、個別の外出支援もしている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族よりお小遣いをお預かりし施設にて保管、管理を行っている。必要な物品の購入はこまめに連絡をし、相談しながら購入している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人の要望があればいつでも電話連絡が取れるよう支援している。贈り物が届いた際は電話連絡の折にご本人と代わり、お礼を直接伝えていただいている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールでの座席は食事やレクリエーションの度に変えていて、利用者同士で楽しめるように工夫している。各空間への誘導は他の方と重ならないように状況をみて行う。壁や玄関等季節に合わせて飾りつけを変えていて、建物内でも季節を感じれるように心がけている。	玄関が広く、ホールは天井が高く明るい。空調管理も適切である。台所は対面式で和室もある。事務室からも利用者の様子が見える。テレビを囲むように大きなソファが置かれ、食後は団欒している。愛猫が可愛いがられている。壁には写真や季節感のある作品が飾っており、居心地よく過ごせるように工夫されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	座席に注意し話し相手や気の合う者同士で楽しく過ごせる空間づくりに配慮している。テレビ前に車いすの方が並ぶとテーブル席からは見えないので、ソファへ誘導を行っている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は本人と相談し確認をしながら、写真や製作した作品を飾っている。本人の使いやすさに重点をおいて家具を配置し、一人でも過ごしやすい環境づくりを心掛けている。	エアコンやベッド・タンス・洗面台が設置しており、家族写真・暦・布団・小物等が持ち込んでいる。タンスの引き出しの中物が、分かるように職員や家族で工夫し居心地よく過ごせるようにしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	車いすの方が増えているので、トイレ等の自操が安全に行えるように目印をつけている。歩行練習のためにホール内は広めのスペースを設けている。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない